

健康日本21(第二次) 各目標項目の進捗状況について

別表第一 健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現に関する目標

項目	策定時の現状	これまでの取組	今後の方向性
	目標		
健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平均の都道府県格差の縮小)	日常生活に制限のない期間の平均が最も長いところと最も短いところの差 男性 2.79年 女性 2.96年 (平成22年)	<p>○平成22年国民生活基礎調査のデータを用い、健康寿命の値(全国、各都道府県及び政令指定都市)を公表。</p> <p>○自治体が健康寿命を算定することを技術支援するため、研究成果として、健康寿命の算定方針、算定ソフトを公表(平成24年9月)</p> <p>○研究成果として、地方自治体による効果的な健康施策展開のための既存データの活用の手引きを公表(平成25年3月)。</p> <p>○都道府県において、 ①市町村の健康に関する指標や生活習慣の状況の格差の実態把握を実施;46都道府県 ②その縮小に向けた対策を検討;37都道府県 ③その検討結果に基づき格差の縮小に向けた対策を実施;30都道府県</p>	<p>○厚生労働科学研究費補助金にて、健康寿命の全国推移と地域格差の算定と評価方法の研究を行う。また、健康日本21(第二次)の主要目標項目のうち都道府県データから得られる指標についての分析並びに各指標の地域格差の要因分析についての研究を行う。</p> <p>○「健康格差対策に取り組む自治体の増加(目標:47都道府県)」を引き続き推進していく。</p>
	都道府県格差の縮小 (平成34年度)		